

2010 年度青島日本人会 総会 議案書

2010 年 4 月 17 日 (土)
16 時 30 分 ~ 17 時 30 分
於：青島海爾洲際酒店

第 1 号議案 2009 年度事業活動報告

(1) 全般

(2) 商工会

(3) 生活文化会

(4) 青島日本人学校支援委員会

第 2 号議案 2009 年度会計報告

第 3 号議案 2009 年度会計監査報告

第 4 号議案 2010 年度理事及び監事選任

第 5 号議案 2010 年度事業活動計画

(1) 全般

(2) 商工会

(3) 生活文化会

(4) 青島日本人学校支援委員会

第 6 号議案 2010 年度収支予算案

以上

第1号議案

(1) 2009年度青島日本人会事業活動報告(全般)

青島日本人会会長 飛坂有三

1)はじめに

会員の皆様、いつも日本人会の活動・運営に、多大なるご支援を賜り誠に有難うございます。又、本日はご多忙のところ、本総会にご出席頂き、厚く御礼申し上げます。

皆様におかれましては、日本そして世界の厳しい経済環境、更には激変する中国経済・社会の中で、企業経営・日々の生活面でご多忙な日々を送られている事とお察し申し上げます。又、制度・言葉・文化の異なる当地での、ご苦勞も多い事と思えます。

さて、ここ青島市においては、2008年のオリンピックを経て、街の環境整備も進んでまいりましたが、更なる開発計画が軒並みとなっています。地下鉄・高速鉄道網、そして待望の膠州湾大橋、海底トンネルと市の発展、隣接地域とのより高度なネットワーク化が進もうとしています。一方、これらの火急とも感じる開発計画から、再開発による移転・立ち退き等、会員企業に深刻な問題をもたらしている実態もございます。

昨年、建国60周年を迎えた中国ですが、近年の発展には目覚ましいものがありますが、労働力問題、法規制・税徴収強化等と、従来以上に経営上の対応課題が増え、高度化していると痛感しています。一方、新しいニーズ・事業機会が生まれてきているのも事実でしょう。ピンチとチャンス同時到来という事かと感じております。

2)青島日本人会の活動

丁度一年前に私は青島日本人会会長を拝命致しましたが、会員の皆様の積極的なご参加、ご協力・ご支援により、一年間の諸活動を終える事ができました。

昨年春には新型インフルエンザ流行の危機に見舞われました。日本人会としても最悪の状況を想定し、会員企業のご支援も得て、その対応にむけての準備を進めましたが、幸い、心配されていた様な事態には至りませんでした。

又秋には、建国60周年関連の統制強化により、日本人会のホームページがアクセス不能となる事態が発生しました。会員の皆様には大変ご不便・ご心配をおかけしました事をお詫び申し上げます。幸い、多くの方のご協力により、ホームページは復旧し、内容も充実してきております。

これら、緊急問題の対応等に際しては、総領事館・JETRO・日本人学校、そして会員の皆様から、多大なご協力・ご支援を頂いた事をご報告すると共に、この場をお借りしまして、厚く御礼申し上げます。

日本人学校も教育環境は充実し、熱心な先生方と生徒達の明るい声が溢れ、理想的な教育が行われていると思っております。しかし、その運営面では生徒数不足という課題を抱えております。

商工会・各部会活動・生活文化会・同好会活動、そして日本人学校支援には、大変多くの方に参加頂き、日本人コミュニティーとしての一体感が更に醸成されてきたと感じております。個々の活動につきましては、これから各担当より報告させていただきますが、これらの活動成果も全て、各部会の幹部そして会員の皆様のお力と、重ねて御礼申し上げますと共に、変わらぬご支援をお願い申し上げ、私のご報告とさせていただきます。

(資料)全般的活動

4月13日	青島日本人学校 第6回入学
18日	定例総会および懇親会 (於:青島香格里拉大飯店)
6月06日	日本人学校 運動会
20日	「月刊青島」発刊
25日	医療セミナー(総領事館と共催) (於:東暉国際)
8月01日	青島日本人会ホームページ・リニューアル
10月30日	ジャパンデイ開催
31日	在青島日本国総領事館開設記念式典
11月6日	宋文洲氏講演会
18日	医療セミナー(総領事館と共催)
1月23日	新年会
2月9日	医療セミナー(総領事館と共催)
3月12日	日本人学校 卒業式

(2) 2009 年度 商工会 活動報告

商工会会長
吉田 暁
(副会長 新長暁、北条尚子)

1)活動実績

- ・第 1 回 7 月 4 日 中国事業危機管理セミナー
「売掛金回収に関わる注意点と問題発生時の対応法」(協力:大地法律事務所)
- ・第 2 回 9 月 18 日 中国事業危機管理セミナー
「日本人経営管理者の知っておくべき会計税務の基本」(協力:E&Y)
- ・第 3 回 3 月 5 日 人材マネジメントセミナー
「中国市場営業をみすえた高度人材確保・処遇・育成」
(協力:パソナ、マーサーコンサルティング)

2)2009 年度活動報告

2009 年度は前年後半の世界同時不況の影響を多大に受ける中での活動となったことから、中国事業における危機管理に焦点をあてた事業セミナーを 7 月に弁護士事務所、9 月に会計事務所のご協力を得て実施しました。いずれも 100 名前後ご出席いただき実のあるセミナーとなりました。3 月にはアンケートでも常に要望の多い人材管理についてのセミナーを企画し、上海から人材派遣大手のパソナと人材マネジメントコンサルの雄マーサーコンサルティングを迎えて特に内販営業を拡大する上でのポイントとなる人材管理について講演いただきました。一方、JETRO と共同での給与アンケートも実施しましたが、年々回答数が減少していることから来年度については手法について再考する方向です。

以下 各部会からの報告です。

部会報告

* **機械・電機・化学部会** (部会長 北野重時、副部会長 浦上岳志、吉井良)

2009 年度は、以下の通り 5 月から 12 月まで毎月 1 回部会を開催し、会員の知識の向上をテーマに活動を行いました。工場見学会を快く引受け熱心に説明して頂きました各企業様並びに講演して頂きました各講師には心より御礼申し上げます。

- 第 1 回:5 月 13 日開催 積水(青島)塑胶有限公司様工場見学会
- 第 2 回:6 月 19 日開催 毛国鋒弁護士による講演会「労災発生後の対応と注意すべき点について」
- 第 3 回:7 月 22 日開催 洋馬発動機(山東)有限公司様工場見学会
- 第 4 回:8 月 28 日開催 青島連合包装有限公司様工場見学会
- 第 5 回:9 月 23 日開催 菊川直之氏・森英次氏による講演会「中国での 5S と報連相の進め方、
注意点について」
- 第 6 回:10 月 23 日開催 毛国鋒弁護士による講演会「労働契約法施行後の労働争議実例について」
- 第 7 回:11 月 23 日開催 青島松下電子部品有限公司様工場見学会並び出席会員同士の各種
情報交換
- 第 8 回:12 月 24 日開催 足立吉弘氏による講演会「昔、日本人は青島でどんな暮らしをしていたか」

* **繊維部会**（部会長 三木武、副部会長 田島謙、渡部英司）

部会開催実績

第1回 6月26日	場所:クラウンプラザ会議室	出席者:37名
第2回 9月25日	場所:クラウンプラザ会議室	出席者:39名
第3回 12月18日	場所:クラウンプラザ会議室	出席者:28名
第4回 3月19日	場所:青島国敦大酒店	出席者:31名

上記の通り4回の部会と幹事会を3回実施した。又、情報交換を更に深めるため、部会開催後に希望者で懇親会を毎回実施(参加率70%)

活動内容

09年3月末の会員会社数は120社で業態及び規模、歴史が多岐にわたり、活動内容のご要望も多様化しています。この為に、年初に部会会員の皆様全員に部会運営のアンケートを実施し、ご意見を頂戴し出来るだけ共有するテーマを取り上げて活動を進めました。本年度の主な活動内容は下記の通りです。

- ・繊維部会の賃金実態調査……(50社回答)
- ・中国情報の共有化……JETROの協力及び他からの情報を整理してトピックとして報告、意見交換
- ・企業紹介(新規取り組み)……紹介会社は「青島太陽路衛生防護用品有限公司」「海曼商務コンサルティング有限公司」「上海千趣会貿易有限公司 青島分公司」「青島嘉都麗时装有限公司」「青島丸治皮革製品有限公司」「小林商標」「北京伊藤忠華糖総合加工有限公司」「青島聯合包装有限公司」「大連吉田拉鍵有限公司青島分公司」の各社
- ・内地販売促進の勉強会……大地法律事務所からの「商取引契約における重要事項」の講演会と実際に中国でオペレーションされている「伊藤忠 BIC 様」「千趣会」様から企業紹介をしていただいた。

2010年度の活動(抱負、方針)

- ・従来からの「情報の共有化」に加え「+αの活動」内容で部会の出席企業数を増加させたい。具体的な活動内容はアンケートの実施や他部会の事例や会員の直接的な御意見を集約し実行していきます。

* 流通サービス部会 (部会長 藤江耕一 副部会長 加藤仁志、新長暁、高橋充夫)

総括

流通サービス部会は、他分科会に比してその業態属性が多岐にわたることから、商工会分科会の中でも最大部会会員企業数の集合体となっております。運輸物流、倉庫、小売、各種サービス(医療、食事、ソフト、人材派遣等々)といった一括りで括れない会員企業様の WORKING FIELD を敢えてまとめようとせずに、皆様の情報共有の場として、未知の分野を知る、自社の経営活動との関係の構築□ビジネスチャンスの拡大に資する事も含めて、定期的に会合を開いております。毎回、皆様の幅広い御意見を頂戴しながら、業務運営面・生活面での青島の現況での問題を共有しつつ、闊達に意見交換のできる場を形成・提供することに努めています。

2009 年度も、多種多様な会員企業様の「よろず報告」(企業紹介)を基調として様々な会員企業様の運営実態と問題に触れることができたこと、また、それらに対する皆様からの参考意見の提示、或いは逆に経営ヒントに資したことなど、当地中国青島での企業経営に関し有意義な勉強の場となったことで、本会の運営目的に叶う結果が参加会員企業の皆様に得られたものと確信いたします。

活動内容

- ・第 1 回 5 月 23 日(土) 場所:クラウンプラザホテル会議室 懇親会:月山
議 題:日本人会近況報告・新会員企業紹介
会員企業からの「よろずご報告」
青島日美外語専修学校様、青島カ力考美容美髪有限公司様
その他報告・連絡事項

- ・第 2 回 7 月 25 日(土) 場所:凱来商務大酒店会議室 懇親会:月山
議 題:日本人会近況報告・新会員企業紹介
会員企業様からの「よろずご報告」
阪急阪神国際貨運代理(北京)有限公司青島分公司様、
[青島市萊芙薩卑斯不動産經紀有限公司](#)様
その他報告・連絡事項

- ・第 3 回 1 月 23 日(土) 場所:国敦大酒店会議室 懇親会:無し
議 題:日本人会近況報告・新会員企業紹介
会員企業様からの「よろずご報告」
JETRO(日本貿易振興機構)青島代表処様、
青島迷你島便利店(ミニストップ)有限公司様
その他報告・連絡事項

次年度への課題(抱負)

2010 年度も引き続き、上記 1 の運営目的に添った形で部会を運営します。世界的経済危機から急速な V 字回復を果たしつつある中国において、今後は他産業と同じく、輸出から内販への転換といったような切り口も考慮し、さらには、外部講師による講演等のテーマの深彫り、開催の多頻度化も検討し、会員の皆様の日々の経営活動に資するような部会活動にしていきたいと考えております。

* 食品部会

(部会長 恩賀力 副部会長 蔭島末彦、山口和里)

開催実績

- ・第 1 回:5 月 15 日 場所:クラウンプラザホテル 人数:約 70 名
議題: 6 月 1 日施行の「食品安全法」の解釈と問題点
日系企業の中国国内販売に関する青島市政府の対応
会員の状況報告
- ・第 2 回:10 月 23 日 場所:クラウンプラザホテル 人数:約 100 名
議題:「食品安全法」セミナー(ジェトロ共催)
「食品安全法・同実施条例と関連新規則の概要」(JETRO 東京本部)
「食品安全管理における企業への要求」(山東省質量技術監督局)
- ・第 3 回:12 月 19 日 場所:国敦大酒店 人数:約 50 名
議題:会員各社の状況と問題点報告(食品安全法と中国国内販売)
- ・第 4 回: 3 月 19 日 場所:クラウンプラザホテル 人数:約 90 名
議題:「食品内販セミナー～上海の食品市場、流通の実態～」(ジェトロ共催)
「上海における食品市場・流通の実態と展望」(上海良菱配銷)
「上海における食品市場開拓について」(上海ハウス食品)
「食品販売にける知的財産保護の取組について」(サントリー本社)

活動報告

2008 年の「餃子事件」始まった食品業界苦難の年も1年が経過し、やや落ち着きを取り戻した状況の1年でした。しかし、この問題を契機に「食品安全法」が 6 月 1 日に施行されましたが、現時点でも細則等が未だ明らかになっておらず、混沌とした状況が続いています。一方で、食品各社は従来の「日本向け輸出型」から「中国国内販売型」への脱皮を目指しています。食品部会としても「中国国内販売(現地完結型)」を支援していく為のセミナーや情報交換等によりサポートしてきました。

2010 年度の活動方針

2010 年度も「食品安全法」の状況把握と、「中国国内販売」への情報提供や中国での「食品企業の食品の安全・安心」への取組をサポートする為の各種セミナーの開催や、会員相互の意見交換等の場を作っていきたいと考えています。会員各位のご協力をお願いします。

以上

(3)2009 年度 青島日本人会生活文化会 活動報告

生活文化会会長 藤江耕一

(副会長 菊原俊樹、山口和里)

生活文化会は、青島日本人会という日系コミュニティの融和と繁栄を目的に、会員の青島ライフの充実化と潤いの添加を図るため、在青島日本国総領事館、青島日本人会等と連携して各種の親睦活動や生活文化関連の様々な取り組みを行っております。

生活文化会には、「婦人会」、「5つの同好会(2010.4.01 現在)」、が帰属し其々が活発な活動を継続されており、これらの活動への支援を行っております。他方、地域図書室「ちんたお文庫」の活性化と運営全般、生活情報配信「月刊青島」の運営・編集、に密接に携わりながら協力・支援を続けております。

また、2009年度から、当地青島での日本人の「去来」をアーカイブ化すべく、その調査・研究にも総領事館、日本人会事務局と連携して取り組みを開始しております。

主な行事活動

9月20日「第2回ザ・青島日本人会スポーツ文化マスターズ」

2008年度にリスタートした上記イベントを日本人学校体育館にて開催いたしました。昨年度第1回参加数には届きませんでした。結果として事務局を含め120名近くの皆様にお集まりいただきました。午後の半日、青島在住の皆様方が一緒に汗をかき、ゲームに興じ、楽しい交流・親睦の機会を作ることが出来ました。今回は東西対抗の設定として、公式記録では、東軍120ー西軍157で西の勝利となりました。お怪我をなされた方も無く盛会に完了しました。

景品をご提供いただいた企業・個人の皆様、日本人学校関係者はじめご協力いただいた関係各位に、深く御礼申し上げます。

10月30日～11月1日「2009 青島 JAPAN DAY」

10月31日の「日本国総領事館開館記念式典」とのコラボレーション的に日程を合わせて標記の第1回イベントを開催しました。

総領事館と日本人会の共同イベントとして従来の「青島 JAPAN WEEK」を参考にしながら、その意義・目的と位置付けをより鮮明にした形で実行する、との基本設計に基づき、企画・立案段階から生活文化会も一つのエンジンとして参画いたしました。

イベント自体は青島イオン様の積極的なリードとご協力を得て、青島ジャスコ東部店において、会期中に、マグロの解体ショー、日本からの各種加工食品・焼酎・日本酒などの展示・試食・即売イベント、加えて、青島大学学生モデルによる JAPAN ブランドファッションショー等を行いました。また、JNTO(日本政府観光局)のご協力も得て、目的の一つである訪日観光誘致促進のため JNTO ブースを設営、PR 活動を実施いただきました。今後もこのイベントを継続し日本の様々な魅力を発信することにより、青島の人たちが「日本の面白さを知る、日本の物を買う、日本に行く」インセンティブ効果となること、日本と青島の交流強化の一助となるよう、生活文化会も基幹単位として努力してまいります。

1月23日「新年会」

青島日本人会最大イベントの新年会を例年どおり香格里拉大飯店にて開催いたしました。大人・子供合わせて約500名近くが参加した盛大な会となりました。今年より司会者は紅白さながらの男女ペアでの掛け合いトークで会を進行、会場はそれに呼応し終始和やかで楽しい雰囲気になりました。吉例のオープニングに続き、「プチ抽選会」、可憐な中国女子楽坊の「伝統楽器演奏」、昨年より定番の「変面・雑技」、「青島日本人学校先生生徒による校歌斉唱」、各同好会の PR・活動報告、そして、場内を興奮した「サルサQのダンス披露」、と盛り沢山のプログラムが続き、年に一度の一番大きな日本人コミュニティの集まりを来場の皆様が存分に楽しんだ様子でした。メインイベントの毎年恒例の「プラチナ抽選会」では、無料往復航空券、テレビ、プリンター、カメラ、ウェディングドレスなど豪華な景品の抽選が

行われ、番号発表のたび場内では拍手と歓声・嬌声が渦巻き、吉例の締めで完了。青島に暮らす日本人同士の交流・親睦を深める有意義な会合となりました。不景気の時節柄にもかかわらず、たくさんのご厚志をくださった会員企業の皆様、会運営にご協力いただいたボランティアの皆様、に深く感謝申し上げます。

*ちんたお文庫活動報告

総括

前期役員 書記:丹森加津代、保格 香織 会計:澤田あかね
後期役員 書記:佐々木由紀子、名倉由布子 会計:西垣祐子

海天大酒店内1階にあるちんたお文庫において、ボランティアメンバーによって、本の貸出し、蔵書の管理、新規会員への対応を行っています。

今年度は新型インフルエンザの流行時、ボランティアメンバーのスケジュール変更が頻繁に起こり、代替要員を準備できず休館としたことが1度ありました。

後期(10月～3月)には今まで休館していた第四木曜日を開館とし、利用者の利便を良くするよう努めました。しかし、年度末に帰国によるボランティアメンバー数の大幅な減少があり、現状維持での開館が難しくなったため、来年度4月から6月まで木・金曜日の開館時間を短縮することにいたしました。7月以降につきましては、再度検討してまいります。

3月に「ちんたお文庫専用携帯電話」を文庫内に設置し、利用者から直接ボランティアメンバーに開館時間等のお問合せをいただけるようにいたしました。

活動内容

9月24日 前期定例会

場所:海天ホテル 参加者:ボランティアメンバー14名
(新ボランティア及び新役員の紹介、ビデオの処分、問題点の話し合い)

3月2日 後期定例会

場所:海天ホテル 参加者:藤江副会長、事務局池田氏、ボランティアメンバー13名
(新ボランティア及び新役員の紹介、書架の整理、問題点の話し合い)

毎月の利用者数、新規本(寄贈本)の管理・報告

年間利用者のべ数 464名 寄贈本年間総数 455冊

新規会員年間総数 58名

文庫内清掃

ボランティアメンバーの勧誘

重複本 古くなった本の処理

ビデオテープの処理

延滞者への連絡(手紙 電話)

次年度への課題(抱負)

今年度までと同じ開館時間(木、金、土曜日 13～16時まで)に戻せるように、ボランティアメンバーの増員が必要です。現状ではボランティアのほとんどが奥様方であり、都合のつく日時に偏りがあります。今後は学生や社会人の方のボランティア参加が増える事、もしくはアルバイトの導入を期待します。

また、来年度には海天ホテルの改修工事に伴ない、文庫の場所の移動が必要となります。より利用しやすい場所に移転できれば、利用者数の増加、ならびにボランティアメンバーの増加も期待できると思います。

* 各同好会および婦人会活動報告

ゴルフ同好会

前会長: 鶴島敏章/新会長: 江口規和(連絡先 13953253307)

2009年	開催日	開催地	参加人数	備考
第81回	4月12日	青島国際	65	JAL杯
第82回	6月13日	海陽旭宝	42	
第83回	7月11日	青島華山	43	
第84回	9月12日	膠南東方	49	JUSCO杯
第85回	11月7日	石老人国際	60	シャングリラ杯
		合計	259	

2009年度も例年通り5回のコンペを開催し、毎回50名前後の参加者が熱戦を繰り広げました。特に冠大会を支援していただいた、日本航空様、青島イオン様、青島香格里拉大飯店様のスポンサー3社に厚く御礼申し上げます。また冠大会以外でも青島美金様、丸紅様はじめ数社から賞品を提供いただきました。ご協賛くださった企業様各位に改めて感謝を表しますと同時に、今後も広く会員の皆様方よりのご協力・ご協賛をお願い申し上げます。

2009年度は5回のコンペを別々のコースで開催しました。コースによっては大型コンペの受け入れ・運営に不慣れなところがあり、参加者の皆さんにご迷惑をおかけしました。2010年度はより多くの皆さんにご参加いただき、個人成績・平均スコアのレベルアップを図りながら、楽しめるような内容の濃いコンペを企画して参ります。

ソフトボール同好会

総括

「青島生活の充実」を目標に、異業種・多年齢層の交流を深めました。

09年度のソフトボール同好会(以降SB会)は会長: 井藁博英、副会長: 川崎勉、事務局長: 鹿野雄太郎が三役を務め、また役職として広報、運営、企画、会計を含めた13名を役員会とし運営致しました。

2月22日開幕、12月20日閉幕の延べ42回(雨天中止含まず)開催

スポンサーカップも6回(光輝工芸、全日空、JUSCO、辰安、NAXIS、シャングリラ)行い、のべ参加人数は1200名を超えております。

また09年度は杭州からウエストレーカーズを招き、対抗戦を行いました。

2010年3月31日現在 会員数70名

活動内容

2月末から12月初旬まで、基本的に毎週日曜日、8時30分から12時まで青島海洋大学グラウンドにて活動。部費は500元/年または70元/月となっており、初回の参加時のみトライアル入会として無料にて参加出来ます。シーズンはじめにキャプテンを選出、ドラフトにより3チームを作り、優勝チームを決定致します。途中入会者は部費を納付次第、キャプテン同士の協議の基、所属チームを決定し参加可能となります。年末には優勝チーム決定、各賞発表(ベストナイン、最多勝、最多安打等々)会計報告が行われます。

10年度の課題

海洋大学香港東路校舎が売却予定であり、次のグラウンドを探す必要があります。

今のところ、海洋大学旧市街グラウンドを使っても良いとの話がありますが、更に良いグラウンドを探しております。

また、他地区(上海、大連、北京、杭州等々)に遠征、若しくは青島にて交流戦ができればと思っております。

写真同好会活動報告

会長:不動孝(連絡先 15806571118)

2009年	開催日	開催地	撮影会他
4月度	4月19日	4月例会(キャノン)	
5月度	5月17日	5月例会(キャノン)	
6月度	6月21日	6月例会(キャノン)	旧市街撮影会(6/7)キャノン様協賛
7月度	7月19日	7月例会(キャノン)	
8月度	8月23日	8月例会(キャノン)	
9月度	9月13日	9月例会(キャノン)	
10月度	10月18日	10月例会(森福楽)	ソフトボール同好会撮影(10/18) JUSCO 写真展(10/28~11/4)
11月度	11月15日	11月例会(森福楽)	北京撮影旅行(11/6~8)
10月度	12月13日	12月例会(ジャスコ)	忘年会
10/1月度	1月17日	1月例会(地中海)	
2月度	2月28日	2月例会(地中海)	
3月度	3月21日	3月例会(キャノン)	

毎年行う予定の世界遺産旅行では北京・万里の長城と市内撮影を行うことが出来、また秋には日中合同写真展を行うことが出来ました。

昨年は在籍メンバーの帰国等で活動人員が一時減少しましたが、また新入の会員も増えるとともに写真機材のグレードアップも図られ、再び活気のある活動が出来るようになりました

昨年度は出来なかった写真集製作を2010年度は是非実現し、メンバーの活動成果を残して行きたいと思っています。

現在の登録会員は中国人会員5名を含めて20名です。

テニス同好会活動報告

前会長:橋本 要(連絡先 13206498553)

新会長:森 豪利(連絡先 13969777994)

2009年度の活動内容におきましては、例年通り、大型連休中以外は、毎週日曜日 AM9:30~PM12:30、銀都花園のテニスコートで練習を実施しました。現在、登録会員数は32名で、常時20名前後のメンバーで、2~3面のコートを使用して、練習に励んでおります。今年度も、昨年同様に帰国

される方が多く、メンバーの入れ替わりが多く、会員数が若干減少してしまいました。

イベントとしては、春と秋の2回、韓国人チームとの定例対抗戦を行い、いずれも大きく負け越し。対外試合としては、5月に日中韓の国際交流試合(個人戦)、9月には団体戦に参加しました。いずれも思うような結果とはいきませんでした。各会員とも”向上心”は高く、2010年は期待できます。

2010年度の抱負としましては、特に女性の会員数を増やし、全体で40名以上にしたいと考えております。また、この4月より会長他世話役が変わり、新体制となり益々活気のある同好会にしていきたいと思っておりますので、今後とも何卒よろしくお願い致します。尚、この4月より会長が変わりましたので、何卒よろしくお願い致します。

ヨット同好会

(会長:飛坂有三、家族会員・個人会員合わせて11名)

昨年7月に正式同好会として認定され、オリンピックマリーナを拠点としています。同好会が保有する3人乗りのヨットでの毎週末の練習・講習が中心です。一方、9月には日照市で行われた中日韓親善レースに参戦し7位に入賞しました。同じく9月に青島オリンピックマリーナで開催された第二回シャングリラカップでは、アサヒビール様のスポンサー支援、日本人会有志応援団の熱い応援を頂き、前回2位の雪辱を果たし優勝する事が出来ました。8月には青島市主催の子供ヨットキャンプに協力し、日本人学校の生徒さん7名に初心者ヨット講習を受けてもらいました。子供たちは大喜びで、ヨットを続けたいと言ってくれています。

今年も前年同様、オリンピックマリーナを拠点に活動していきます。又、子供達のヨット活動を支援するために、子供用ドライスーツ(ヨット用の防水服)を購入し無料で貸出す事としています。ヨット保有・維持のため、会員からは年会費を頂いておりますが、2年目となる今年は、年間家族会費4万5千円・個人会費3万円と前年の2/3程に下げる事が出来ました。競技としてのヨット、レースへの参加と共に、毎週末の活動には初心者の方への講習を盛り込み、より多くの方に青島でヨットを楽しんで頂ける環境を作って行きたいと思っておりますので、皆様のご参加をお待ちしております。

婦人会活動報告

会員数:56名(2010年3月現在)

毎年4月に行われる総会、年3回の定例会、12月に行われる忘年会が活動の中心です。定例会は昼食をとりながら会員相互の紹介をしたり、親睦を深めたり、青島での暮らしに係わる情報交換などを行っています。また新しく青島にいられた方が1日でも早く青島の生活に慣れるように、様々なアドバイスやお手伝いをしています。

2009年度の活動報告として、

2008年度に作成した婦人会メールアドレスを引き継ぎ使用し、現在も配信中です。また、婦人会活動を広く多くの方にご覧いただくことを目的に、役員或いは会員の皆様が常時書き込み更新できる青島婦人会独自のホームページ(役員作成のブログも含む)を、チンタオ web 様のご協力の下、無料にてチンタオ web 上に婦人会ホームページを掲載中で、さらに役員が婦人会ブログを随時更新しています。

婦人会の活動行事は次のとおり

4月	総会	海潤老飯店	参加者:25名
5月	労山ワイナリー工場見学ツアー		参加者:23名
6月	定例会兼臨時総会		
	規約内容の変更	LISAS(カ薩)地中海レストラン	参加者:28名
9月	フラワーアレンジメントを楽しむ会	東海路9号公萬	参加者:12名
12月	チャリティー・バザー&クリスマス会		
	シャングリ・ラホテル内「ダ・ヴィンチ」		参加者:39名

□企業様、会員のご協力に拠り、バザー売上金額は6,873元(寄付品5,227元、ユニセフ商品1,646元)。売上金全額をユニセフ中国北京本部に寄付。

2010年1月 青島日本人会新年会の受付ボランティア 役員全員(7名)参加

来年度の抱負・計画案、

青島日本人会を基軸にした日系コミュニティの伸長に伴って、在住される日本人女性も、主婦はもとより、働く女性、学生など、さまざまな立場とバックグラウンドをもたれた、さまざまな世代の方々が集まるようになりました。

今年度の婦人会は、そのような青島在住のすべての日本人女性が、職業の有無・世代差などを問わず、幅広く参加して頂くことができるような会にすることを目指し、皆様と一緒に、より充実した海外＝青島生活を過ごせるよう、会員一同で様々な取り組みが出来ればと考えています。

そのため、気軽に参加できる各種イベント、食事会、生活情報発信などの活動をより一層活発に催して行きたいと考えています。また、昨年実施したチャリティー・バザーなどの活動を通して、微力ながら社会・地域貢献にも取り組んでいきます。

年間主要行事(予定)

総会 4月、定例会 6・10月

クリスマスパーティー 12月

ワンデイレッスン

ワイナリーツアー

ユニセフチャリティ活動

以上

(4)2009 年度青島日本人学校支援委員会活動報告

青島日本人学校支援委員会
委員長 恩 賀 力

1. 新校舎完成後の設備支援

正会員企業、個人に広く募り学校設備の充実に役立てた。

2. 青島日本人学校に対する運営資金提供

青島日本人会予算から、青島日本人学校に寄付を実施(2009 年度:10 万円)

3. その他の学校の日常活動支援・協力

<資料>青島日本人学校の現況

児童・生徒数

2010 年 4 月 現在:小学部 73 名、 中学部 22 名、 合計 95 名

参考	2004 年 4 月:6 名
	2005 年 4 月:22 名
	2006 年 4 月:61 名
	2007 年 4 月:77 名
	2008 年 4 月:89 名
	2009 年 4 月:98 名

教職員

- ・校 長: 加藤 文昭
- ・教 員: 文部科学省派遣教諭(校長含む)9 名、現地採用常勤講師 3 名
- ・事務員: 2 名

施 設 青島市北区同興路 76 号

入学条件等

- ・入学資格:青島市及びその周辺に在住する日本国籍を有する子女
 - ・入学金: 10,000 元、授業料 月額 3,000 元(スクールバス費用は、別途必要。)
- ホームページ <http://www.qingdaojs.org/>

以上

<資料>

* 青島日本人会会員数

	正会員	個人会員
2008 年度(2009・3 月末)	354 社	104 人
2009 年度(2010・3 月末)	358 社	73 人

* 中国人スタッフ日本派遣のための会員証明書発行

2008 年	91 社	397 通
2009 年	102 社	429 通

第2号議案

2009年度会計報告
(2009年4月1日～2010年3月31日)

単位：RMB

収入の部		支出の部	
	決算		決算
1. 前年度繰越金	360,289	1. 会議費	120,442
		総会	25,696
		新年会	94,746
2. 2009年度会費収入 法人381社、個人73名	452,600	2. 商工会活動費	35,598
		全体会	10,148
		部会	25,450
3. 臨時会費収入	108,800	3. 生活文化関連費	8,303
・ 総会懇親会会費 192名	28,800	婦人会	1,075
・ 新年会懇親会会費 400名	80,000	ちんたお文庫	6,127
		スポーツマスター	1,101
4. 利息	3,760	4. ジャパンデー関連行事	21,764
		5. 特別講演会の開催	20,413
		6. 情報整理(H・P改修等)	11,500
		7. 日本人学校支援費	100,000
		8. 事務局費	201,863
		9. 予備費	28,000
		* 次年度繰越金	377,566
【合計】	925,449	【合計】	925,449


第3号議案

監 査 報 告

青島日本人会規約に則り、第19期(2009年4月1日～2010年3月31日)の会計検査を関係帳簿・信憑書類に基づいて実施したところ、全て厳正に処理されていることを確認いたしました。

2010年4月17日

青島日本人会 監事

新居忠寿 

羽鳥一郎 

第4号議案

2010年度 青島日本人会 理事及び監事(案)

役 職	氏 名	現 職
理 事	あがわ ゆたか 阿川 裕	青島永旺東泰商業有限公司 総経理
理 事	うらがみ たけし 浦上 岳志	青島松下電子部品(保税区)有限公司 総経理
理 事	えぐち のりかず 江口 規和	阪和興業株式会社青島事務所 所長
理 事	おんが つとむ 恩賀 力	新日清製粉食品(青島)有限公司 総経理
理 事	かげしま すえひこ 蔭島 末彦	青島日東餐飲有限公司 総経理
理 事	かとう ひとし 加藤 仁志	三井物産(青島)有限公司 総経理
理 事	かねしげ きよし 兼重 清史	山口銀行青島支店 支店長
理 事	きたの しげとき 北野 重時	青島西科姆電子安全有限公司 総経理
理 事	くろい ひろし 黒井 博	青島三美電機有限公司 総経理
理 事	しんちよう さとし 新長 暁	全日本空輸株式会社 青島支店 支店長
理 事	しもじ とみお 下地 富雄	在青島日本国総領事館 首席領事
理 事	すずき ひろゆき 鈴木 啓之	青島嘉都麗時裝有限公司 総経理
理 事	たかはし みつお 高橋 充夫	佳能(中国)有限公司 青島分公司 総経理
理 事	たじま ゆずる 田島 譲	東麗即発(青島)染織股份有限公司 総経理
理 事	とびさか ゆうぞう 飛坂 有三	三菱商事(青島)有限公司 総経理
理 事	ほうじよう なおこ 北条 尚子	日本貿易振興機構(JETRO)青島代表処 所長
理 事	むらかみ ゆうじ 村上 裕治	丸紅(青島)有限公司 総経理
理 事	やまくち かずさと 山口 和里	青島秀愛食品有限公司 総経理
理 事	やまひら ひでき 山平 英樹	三菱重工海爾(青島)空調機有限公司 総経理
理 事	よしい りよう 吉井 良	積水(青島)塑膠有限公司 総経理
理 事	よしだ さとる 吉田 暁	みずほコーポレート銀行(中国)有限公司青島支店 支店長
理 事	わたなべ えいじ 渡部 英司	伊藤忠(青島)有限公司 総経理
監 事	おりい ただひさ 折居 忠寿	青島寿技研商貿有限公司 総経理
監 事	はとり いちろう 羽鳥 一郎	青島丸魯大食品有限公司 董事長兼総経理

第5号議案

2010年度事業活動計画

(1)全般

日本人会会長 飛坂有三

青島日本人会は1990年に創立され、満20年が経ちました。先日、創立時幹部の方とお会いし、当時の想像を絶する厳しい状況とご苦労につきお話しを伺いました。その後20年間の諸先輩のご尽力により、日本人会は順調に発展してまいりました。総領事館、ジェトロ青島事務所、日本人学校と日本人の海外生活に必要なインフラも整っております。

一方、私達を取り巻く環境は急変しつつあり、対応に追われる日々が続いています。こういった環境の中で、日本人会としては商工会活動、生活文化会活動、日本人学校支援活動を中心に、従来に増して皆様のプラスになる活動、明るく楽しいコミュニティーの発展に向けた活動を進めていきたいと思っております。又、総領事館・JETRO・日本人学校の緊密な連携・協力により、より大きな力が発揮できればと考えております。

これから商工会・生活文化会・学校支援委員会会長からの、本年度計画の発表がございますが、20周年を記念すべく、色々な活動も計画されています。いうまでもなく、日本人会の活動は皆様のボランティア活動により成り立っているものです。この日本人コミュニティーの充実と、会員相互の協力関係、そして、会員皆様の明るい海外生活の為に、皆様の更なるご支援・ご協力をお願い申し上げる次第です。

1. 全体活動

青島市政府関係機関等との交流を強化し、円滑な企業活動環境の整備および青島在住日本人の生活環境向上のための提言活動への取り組み。

- 青島総領事館設置と連携・協力し、活気あるジャパンデーの実行、安全情報等各種情報の収集・発信。他国・地域駐在員組織との交流・情報交換をはかる。
- 青島日本人学校運営にかかわる支援。
- 青島日本人会ホームページの充実をはかる。
- 日本人会20周年として記念行事を行う。

2. 商工会

2010年度活動の抱負

2010年度は、日本及び欧米の景気回復が遅れる一方、中国の景気が世界を引っ張る構図がしばらく継続しそうな様相です。商工会としては会員の皆様の応援をすべく、法務・財務・税務・労務等の各企業共通のテーマから、要望の多いものを取上げてセミナーなどの開催を考えております。又、市政府・機関並びに他国商工組織との交流も更に進め、JETRO主催の事業環境研究会の活動も通じて、関係機関への提言を進めていきたいと考えています。更に、青島に拠点を持つ日系企業の中には中国市場への参入、内販の拡大などの多種多様な課題を持つ会員企業が業種を問わずでてきており、その役割期待も益々増大しているのではないかと思います。昨年商工会アンケートでも要望の多い会員企業紹介についても青島日本人会のホームページなどを活用して対応していく方向です。

4部会「機械・電機・化学部会」「流通・サービス部会」「繊維部会」「食品部会」の情報交換、セミナー開催等の活動に加え、地域別関連情報の交換・交流も併せて実施。

商工会全体活動の充実

(「危機管理」に関するシリーズセミナー等)

政府機関、他国・地域同様組織との交流

JETROと連携し、事業投資環境整備に向けて、関係諸機関への提言

3. 生活文化会

各種親睦活動・生活文化関連活動の主催及び支援
新年会の企画実施
ちんたお文庫の活性化にむけた取り組み
各同好会及び婦人会への活動支援
青島生活情報の配信
青島の文化・歴史についての調査・研究に対する支援

4. 青島日本人学校支援委員会

青島日本人学校の各種行事、運動会に対する協力支援
青島日本人学校の運営に対する支援
その他、学校の要請に基づく課題に対応

以上

2010年度収支予算案

(2010年4月1日～2011年3月31日)

2010年4月17日

(単位:RMB)

収入の部		支出の部	
1.前年度繰越金	377,566	1.会議費	140,000
		総会	30,000
		新年会	110,000
2.2010年度会費収入	454,200	2.商工会活動費	60,000
法人350社、個人100名		全体会	25,000
		部会	35,000
3.臨時会費収入	100,000	3.生活文化関連費	73,000
・総会懇親会会費		婦人会	5,000
(200元×100名)	20,000	ちんたお文庫	10,000
・新年会懇親会会費	80,000	スポーツマスター	10,000
		月刊青島	24,000
		歴史保存会	24,000
4.銀行利息	3,734	4.ジャパンデー関連行事	40,000
		5.特別講演会の開催	30,000
		6.情報整理(HP改修等)	30,000
		7.日本人学校支援費	100,000
		8.事務局費	262,000
		9.安全対策セミナー	10,000
		10.20周年記念企画	30,000
		11.予備費	160,500
【合計】	935,500	【合計】	935,500